

西部公民館が20周年



～華やかな津軽さんのステージ～

中野市公民館報

2010
No.69
(通巻No.601)

発行
中野市中央公民館
編集
文化なかの編集委員会

〒383-0025
中野市三好町一丁目4番27号
TEL 0269-22-2691
FAX 0269-26-2342

地域に根ざして

新スタート

今年で20周年を迎えた西部公民館は平成3年度、多目的集会施設として中野平中学校区に開館しました。公民館活動をはじめ、住民の学習、文化、体育レクリエーションなど、生涯学習の拠点施設としての役割を担っています。

11月13日(土)、14日(日)には、20回目の文化祭を開きました。13日は、演歌歌手の津軽ひろ子さん、瀬名ひとみさんを迎えて記念事業を行い、250人を超す来場者が集まりました。

20年の節目を迎え、さらに地域に根ざした公民館を目指し、新たなスタートを切りました。

これからもよろしくお願ひします。

今月号の特集

公民館の文化祭

あおぞら

いや〜早いもんで、もう12月ですね。皆さん、この一年どんな年でした？

自分は体の引き締めに成功した一年でしたね。なんてたって、20年前の体重復活！ですから。加齢と共におなか辺りにブクブクと付いてきたモノがすっきり。食べるのを我慢した訳ではないですよ。普通に食事しています(でも若干食べる量が減ったのは齢のせい)。

あと、なるべく体を動かすようにしていますね。例えばいつも車で行くところを歩きにしたり、エスカレーターじゃなくて階段使ったり、子供と散歩したり。

今までは、「ちよつと体重やばいかなあ」って思うと、食事の量を減らしたけど、それってやつぱりストレス溜まるんだよね。ちよつと生活パターンを変えてみるだけでこんなに体が締まるなんて、あ〜夢のよう。でも、一年かかりましたけど…。まあ、ダイエットは気長に、焦らず、無理せず、コツコツと、そして楽しく。で、気が付けばにっこり。

来年も続けます。皆さんも是非お試しください。(too)

文化祭 ～日頃の成果を披露～

地域文化の拠点に

西部公民館



バレエの発表

西部公民館は11月13・14日に第20回文化祭を開催。開館以来、地域の皆さんの学習文化活動を大切に、地域文化の中心的な拠点づくりを図り、20年の節目の年を迎えました。

13日は20周年記念事業として演歌歌手の津軽ひろ子さん、瀬名ひとみさんをゲストに迎えました。

14日の芸能祭は、大正琴や合



オリジナルの作品が並びました

唱、子どもたちのダンス、謡曲、空手など14団体の発表がありました。出演者は日頃の成果を發揮し、来場者も大きな拍手を送っていました。

玄関前では安源寺子ども会が植えた花苗が来館者を迎えました。作品展会場には高丘小児童、中野平中生徒の作品や、夏休み子ども教室の絵手紙、シャドーボックス、実木草クラフト作品が並びました。秋のいきがいづくり講座の布ぞうりも作品展に彩りを添えてくれました。

文化を創る公民館

北部公民館



科野小学校合唱団の発表

北部公民館は11月6・7日に第24回地域文化創造祭・公民館文化祭を開催し、大勢の来場者で賑わいました。

作品展では、倭小全児童の絵や書道作品をはじめ、倭地区展、講座受講生、サークルの絵手紙や生け花、陶芸など多種多様な作品が並びました。

6日は「なぐるほど・こゆ・南極」をテーマに、山岳ガイドで第



力作が並びました

49次南極越冬隊員の赤田幸久さんの講演会を行いました。

7日は芸能祭を開き、科野小学校合唱団やのぞみの郷高社ぼっぴきさーくる、平岡小学校太鼓クラブ「大鷹」、高社中学校吹奏楽部などが出演。踊りやコカリナ演奏、社交ダンス、子どもバレエなどもあり、文化祭を盛り上げていました。

中野えびす講に合わせ、中央公民館では、中野市文化芸術協会と共催で、11月13・14日、第38回中野市総合文化祭「文化展」を開催。12団体222人の作品を全館に展示しました。

両日は好天に恵まれ、市街地などでもイベントが行われたこともあり、2日間で約2300人が来場しました。来場者は絵画、おもと、華道、書道、短歌、俳句などの力作を興味深く眺め



色あざやかな展示（文化展）



ハワイアンフラの発表（働く婦人の家フェスティバル）

ていました。同協会や公民館では、3階でお茶のサービスで来場者をもてなしました。同日、併設する働く婦人の家でも、利用者による「働く婦人の家フェスティバル」が開かれ、芸能発表や作品展、販売会などで賑わっていました。

芸術の秋を彩る文化展

（中央公民館）

第6回豊田公民館文化祭を10月22日から24日まで、作品展や音楽芸能発表会、映画鑑賞会など多彩な演目で行いました。作品展では、テーブルガーデニング講座が今年度の日程を終えたことから、多くの作品を展示しました。玄関先のギャラリには、小さな庭園がいくつも並び、来場者の中にはカメラに収めたり、出展者に質問する人もいました。このほか、リースや写真、絵画、書道などの展示



豊井小学校3年生の発表



豊田アイリス会の発表

も人気でした。毎年好評の映画鑑賞会は、大人数向けには、話題となった「おとうと」（山田洋次監督）、子ども向けには「ヤッターマン」（笹川ひろし総監督）の2本を上映しました。毎年楽しみにしている人もいて、家族で訪れた人もたくさんいました。13団体が出演した音楽芸能発表会は、合唱、舞踊、楽器演奏など多彩な演目の特徴です。観る人を飽きさせないよう4部構成で行い、発表種目が重ならないよう配慮しています。中には一人でいくつもの演目に出演し、プロ顔負けの活躍をする人もいました。

豊田地域はリンゴの収穫期で忙しい時期でしたが、多くの方の協力が得られ、文化祭は大盛況でした。

日頃の成果の集大成

（豊田公民館）

こんにちは 分館

安源寺区は、風巻・東組・新田・本田の四組で構成され、世帯数は約174戸余りです。又、郵便局・小内八幡神社・西部公民館を有する平野地区に隣接する高丘地区の最も東側に位置する場所柄です。

分館の年間事業と言えば、ほぼ毎年同様な企画ですが、それでもその年の分館長・主事・副主事が、知恵を絞って区民の皆様が参加し易い様、試行錯誤して企画します。

主だった事業は、春には公会堂庭に植えられた桜を肴にお花見を催します。企画します。

安源寺分館

この行事は、その年度の最初である事から老若男女問わず最も区民の皆様が集まる事業です。よって主催者側としましては、

手品・合唱・コント等手を変え、品を変え工夫する最も大変な事業の一つです。



今年の区民ふれあい事業の様子

今年度は、少々足を延ばし愛知県蒲郡市まで潮干狩りに行って参りました。この催し物も日帰りという制約が有るので、毎年行き先を選定するのに一苦労します。

秋は区民球技大会を執り行い、内容は不定です。毎年ソフトバレーやマレットゴルフを開催するのですが、本年は、初めてボーリング大会を催しました。又、おおよそ季節の節目ごとに分館報を3回発刊致します。

既に今年も終盤を向え、残り僅かとなりましたが、区民の皆様が参加し易く来年に継ながる様一層努力して参る所存です。

(分館長 片山信男)

ふるさととの歴史

安源寺村は中世寺院「安源寺」の寺名にちなむものである。寺名を村名にするには近在に名の知れた寺院であったり、由緒ある寺であることが条件であらう。

その寺はどこにあったのだろうか。城山の西側字北原南端に小名「寺屋敷」がある。県道中野―上今井線の東側で、山号は「八幡山安源寺」である。

開基も開山の時期も不明であるが、永祿四年(一五六一)、川中島合戦で焼失し、天正一〇年(一五八二)頃再

安源寺(寺名)が村名に

興され、のち、無住の時代もあったが上杉氏と深い関係があったようで、謙信の叔父が住職であったこともある。無住になった際、栗和田の円慶寺へ寺を預けるといいう上杉景勝の寄進状なども残っている。

式内社である小内八幡宮は九〇五年(平安時代)には神社として成立しており、それが現在に至っている格式のある社である。この八幡宮と「安源寺」は距離的にも近く、時期的にも併存していたため、八幡山安源寺と命名した

ものと伝えられている。

このようなことから、両者はかつて一体的なものであったろうと考えられる。神仏習合の思想は本来は別の宗教と神道の一体化を図ったもので、平安時代には全国的に広がりを見た。仏が仮に神の姿で現われ、功德を示すとする考え(本地垂迹説)が唱えられ、鎌倉時代に入ると神道側から逆の考えが提唱された。これらの考えは明治の神仏分離令により制度的には終わるのであるが、「安源寺」は式内社である八幡宮の神宮寺のような形で存在していたと考えられる。

(松沢邦男)

文化講演会 開催

豊田公民館では、11月23日(火)に、今年度の文化講演会として、信越放送ラジオパーソナリティの坂橋克明さんを講師に、「笑顔で前に」と題して、講演をしていただきました。

当日は、多くの方が来場し、講演では、毎日の挨拶の大切さ、物事に対する前向きな考えが自分の人生を豊かにするなどのお話しをいただきました。ユーモアあふれる語り口で、時折、会場は笑いに包まれて、楽しく有意義なひとときを過ごしました。




今月の伝言板

講座の詳しい内容につきましては、各公民館までお問い合わせください。

■中央 ☎ 22-2691 ■北部 ☎ 26-0677 ■西部 ☎ 23-1024 ■豊田 ☎ 38-2922


公民館ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/kominkan/>

	講座名	日 時	場 所	講 師	備 考
中央公民館	しめ縄づくり講習会	12月10日(金) 午後6時～8時	中央公民館 講堂	大宮誠吉 先生	<定員> 25名 <受講料> 500円 <持ち物> 花ばさみ(無ければワラを切れるハサミ)
	シニア大学公開講座 講演:「ところで、 地震は予知できるん ですか?」	1月27日(木) 午後1時30分～ 午後3時	中央公民館 講堂	気象庁主任研究官 細野耕司 先生	<受講料> 無料 <申込み> 不要 * どなたでもご参加できます。
	公民館ギャラリー		みずえ会の絵画展		
北部公民館	高齢者大学公開講座 講演: 空と祈り 遺愛集「島秋人 との出会い」から	12月7日(火) 午後1時30分～ 午後3時	北部公民館 2階研修室	元木島平村教育長 土屋誠之 先生	<受講料> 無料 <申込み> 不要 * どなたでもご参加できます。
	高齢者大学公開講座 映画: 童謡物語	12月21日(火) 午後1時30分～ 午後3時	北部公民館 2階講堂		<受講料> 無料 <申込み> 不要 * どなたでもご参加できます。
西部公民館	ものづくり教室	1月8日(土) 午前10時～正午	西部公民館	長野県食生活 改善推進協議会 顧問 原 楫 さん	<定員> 20名 <受講料> 材料費として300円 <持ち物> エプロン、三角巾、 マスク <申込み> 12月8日(水)から
豊田公民館	ものづくり	1月8日(土) 午前10時～正午	もみじ荘	信州中野ふるさと 交流団	<定員> 20名 <材料費> 100円 <入場料> 無料 ※入浴の場合 は実費 <持ち物> はさみ、お盆、エ プロン



新春のつどい 開催

日 時 1月2日(日)午前10時30分～11時15分
場 所 豊田文化センター駐車場
内 容 太鼓演奏(ふるさと太鼓)
きのこ汁の無料提供
問い合わせ先 豊田公民館



公民館の年末年始休業のお知らせ

12月29日(水)～1月3日(月)は、
年末年始休業で、各公民館は、
休館します。

ご理解とご協力をお願いします。



黄葉／一本木公園（月岡尚雄）



季節はずれの梨の花／一本木公園（小林）



菊一對／中央公民館（ちから）



今の主役、来年の主役／東山・巡り逢いの丘（おにぎり）

花と季節の写真募集

宛先

〒383-0025
中野市三好町一丁目4番27号
中央公民館
☎22・2691
Eメール c-kominkan@city.nakano.nagano.jp

文化なかの編集委員会では、中野市内の花や季節の写真を募集します。未発表写真に限り、四ツ切りまで（ワイドサイズも可）のプリント、デジタルデータ（未加工のもの）。氏名、住所、連絡先、作品名、撮影場所、花の名前等を書き送って下さい。匿名希望やペンネーム掲載はその旨をお伝え下さい。随時募集します。

季節のコラム

「沈思」

タヒチを描いたといわれるゴーギャンの名画の一点に、「我々はどこから来たのか・我々は何者か・我々は何処へ行くのか」の題名を持つ名画がある。画面には、南国の美しい自然の中に展開される人の一生の象徴的な場面がドラマチックに表現されている。じっくり見ると作者の世界に引き込まれるようだ。今、師走を迎え、あわただしい中にも一年を振り返りまとめをする時が来た。人の永遠の課題でもある「私は何をして来たのか、何をしようとしているのか」は重い命題である。私たちは、いつもどこかでこのことを考えながら生きている。

除夜の鐘を聴きながら、一瞬でも、自分から始まって世界や宇宙の彼方まで心の視線をおくってみたい。そして、来るべき年の指針としたい。

「来るべき年は、よりよき年になりますように」